

#### ④ ヒメノボタン

Fさん： この花は御坊畑地区だけの花ではなく、馬荷地区、橘川地区にもある花で、絶滅危惧種とされています。私は、かきせ川地域の取り組みの中で、歩きながら花を見て、健康づくりにもつながるというところに目を向けて、御坊畑の道端に花を植える取り組みを少しずつしました。地域の方々が「この花も植えたら」ということで花を持ってきてくれたりして、今はすごい元気に育っています。花いっぱいにして、年間を通して歩きながら健康を取り戻し、来てくれた人に楽しんでもらい、御坊畑に人が集まってくれるというところに着目して活動を始めています。その中でこのヒメノボタンを選びました。

かきせ川の活性化につなげていくために三原村のヒメノボタンのような里ができ、花で人が集まれる場所になって地域の活性化が図れたら、それはすばらしいことじゃないかと思います。ヒメノボタンは、南面の日当たりの良い場所以外では自然の状態では生育しないと言われています。草に覆われてしまうと、数年後にはなくなってしまうそうです。黒潮町から幡多近辺にかけては8月から10月頃に花が咲きます。多年草ではありますが5、6年経つと、株は命が終わると言われています。種が落ちてそこから次の花が出てくるという花だそうです。

Gさん： 私たち御坊畑部落も今年から栽培を始めましたので、道端に植えたらみんなが見てくれるんじゃないかと思うんですが、話を聞きますと、道端に植えている花を盗まれるということもあるそうです。これからは小高いところにあるいい土地を借りて、少し広めに増やしていけたらいいなという願いを持っています。

知事： 絶滅危惧種で稀少種だということも、プレミアですね。ただ育てにくいんですね。だけど、その分プレミアがつくことがありますから、ぜひ花いっぱいになって、外でも売れるようになればいいですね。